

## ◆日・韓・ロを結ぶ定期貨客船航路が就航間近に！

いよいよ「環日本海大交流時代」の幕開けです。  
去る2月22日、鳥取県境港市と韓国・東海市、ロシア・ウラジオストク市を結ぶ定期貨客船航路の試験運航船が、韓国側訪問団約200人を乗せて境港に入港し、平井伸治鳥取県知事や中村勝治境港市長らが訪問団を出迎え、県が新設した境港国際旅客ターミナルで歓迎式典を開催しました。

就航計画では、韓国のDBSクルーズフェリー社が東海一境港を週2回、東海一ウラジオストクを週1回運航することとしており、本格的な就航開始は6月頃となる見通しです。

定期貨客船航路は、貨物と旅客の両方を兼ね備えた物流インフラであり、地域経済への莫大な波及効果が期待されます。鳥取県が北東アジアへの玄関口として発展できるよう、県民・地域一丸となって共に時代を開いていきたいと考えています。



試験運航船から降り立ち、平井知事らと記念撮影する東海市訪問団